

伊藤先生の
街かど診療室
Q & A

白内障手術と眼内レンズ



伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

白内障手術とは、濁った水晶体、硬くなって光がまっすぐ進まなくなった水晶体などを取り除き、眼内に光が入りやすいようにする手術です。ただ、水晶体にはレンズの役割があるため、取りっぱなしではピントが合いません。そ

れを解消するために、プラスチック製の眼内レンズを入れます。ただし、水晶体は若い時は柔らかく可動性があるため、ピントの調節ができませんが、眼内レンズにすればできません。希に、白内障手術をした後に近くも遠くも見える人がいます。これは、ピントの位置に左右差があるためか、またはその人の絞りを調節する力が強いからです。

しかし時々、この誰さんには遠くも近くも見えると聞いたが、私は遠くは見やすいが近くはボヤけると、あからさまに不満を言う人もいます。事前に遠くにピンと合わせて近くはメカネという相談もしますが、眼鏡を調整するまで不満を持ってしまいます。または、わざとピントの左右差をつけて、両目で見ると広い範囲が見やすくなるように調整することを事前に相談しても、両目で見るとよく見えるが片目で見ると見え方が違うとクレームをつけられることもあります。見え方として眼内レンズそのものの端が気になる現象もあります。保険医療の範囲外で、広い範囲を見るために多

えると聞いたが、私は遠くは見やすいが近くはボヤけると、あからさまに不満を言う人もいます。事前に遠くにピンと合わせて近くはメカネという相談もしますが、眼鏡を調整するまで不満を持ってしまいます。または、わざとピントの左右差をつけて、両目で見ると広い範囲が見やすくなるように調整することを事前に相談しても、両目で見るとよく見えるが片目で見ると見え方が違うとクレームをつけられることもあります。見え方として眼内レンズそのものの端が気になる現象もあります。保険医療の範囲外で、広い範囲を見るために多

☎ 042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
http://www.itoganka.com/

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術、白内障手術、眼科一般診療
■時間：土曜午後、木・日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 ※月・水曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	○
14:00 ~ 17:00	○	○	○	○	○	○	○

と思う半面、現在の眼内レンズそのものの限界も感じます。ただ、そうした患者さんが見え方に慣れてきたときに、1〜2年後に外来を訪れてくれたときに、見え方に慣れて生活に不自由なく、また自分の調整をしている話を聞くと、人間の適応能力の強さも実感します。